

免疫電顕(プレエンベディング)法

- 1 組織の切り出し
- 2 組織の細切 5mmX5mmX2mm
- 3 2.5%グルタルアルデヒド固定 4°C2時間以上
- 4 燐酸緩衝液加シュークロースで洗淨
 - ①10%シュークロース加リン酸緩衝液(4°C、4時間～一晩)
 - ②20%シュークロース加リン酸緩衝液(4°C、4時間～一晩)
 - ③30%シュークロース加リン酸緩衝液(4°C、4時間～一晩)
- 5 組織をOCTコンパウンドに包埋しアセトンドライアイスで凍結
- 6 6ミクロンの凍結切片を作りシランコートガラスに貼付(武藤化学社製推奨)
- 7 切片乾燥 (室温30分間)
- 8 冷PBSで洗淨
- 9 0.1%セミカルバジド塩酸水溶液で洗淨 1回で洗淨
- 10 0.1%セミカルバジド塩酸水溶液で阻止反応 1時間室温
- 11 燐酸緩衝液で洗淨
- 12 蒸留水で洗淨
- 13 イムノセイバー200倍希釈液で洗淨
- 14 イムノセイバー200倍希釈液 恒温器中で70°C16時間賦活化処理
- 15 燐酸緩衝液で洗淨
- 16 免疫染色(酵素抗体法)SLAB
- 17 冷PBSで洗淨
- 18 1%オスミウムで後固定 4°C 2時間
- 19 燐酸緩衝液で洗淨
- 20 脱水
- 21 エポキシ樹脂に包埋
- 22 薄切 電顕観察 電顕写真